

特定非営利活動法人 東京YWCA ヒューマンサービスサポートセンター 会報

見守り、支え、伝えあう



私達は、福祉・介護の仕事のゆたかさを広める活動を推進します。

Contents (目

次)

2 3年目を迎えた私たちの活動 2013年度総会報告

4月20日総会と昨年度の活動報告をいたします。

3 2013年度事業計画

会館216号室に引
越しました

4 ◎活動報告 I 講師派遣研修

5 II 実習指導者講習会

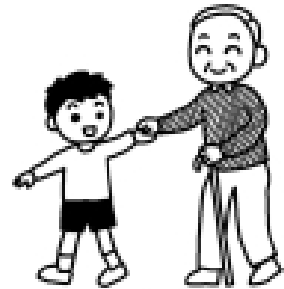
6 III 訪問介護員養成研修

7 IV 第三者評価事業

◎新しい事務局メンバー紹介

8 ... Information ①窪田暁子先生 勉強会 本の紹介

窪田ゼミにご興味のある方は、是非、事務局へお問い合わせください
一緒に学びましょう！すっきり、ホットしますよ。



会員募集中です！～みんなで会員の輪を広げましょう～

2013年5月10日現在の会員数 **88名** (正会員72名、賛助会員10名、団体会員6団体)

多くの方のご協力により、前回から4名増えました。応援して下さる方を増やし、税制優遇のためにも引き続きお近くの方へ声をかけていただくようご協力をお願いいたします。

2013年度の会費振込みをお願いいたします。

年会費 ●正会員 3,000円/年 ●賛助会員 一口 10,000円/年 ●団体会員 一口 20,000/年

振替用紙を使わなくても振込みはできます (従来と変更ありません) (ゆうちょ銀行と東京三菱UFJ銀行の二箇所あります)

◆株式会社 ゆうちょ銀行 記号10170 番号 80995501 ※ゆうちょ銀行の口座からお振込みの場合、手数料無料となります。

◆東京三菱UFJ銀行 神田支店 口座番号 普通預金0138637会費振込先2箇所とも口座名義は共通です

口座名義 特定非営利活動法人 東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター 代表理事 遠藤久江



総会報告

3年目を迎えた私たちの活動



代表理事 遠藤久江

石に上にも三年、古（いにしえ）の人は物事が成就されるか否かをこのような言葉で表現しています。三年の間頑張って事業を進めていけばものになる、もし社会が必要とする事業なら存続すると私は理解しています。このNPOも今年で3年目を迎え、正念場を迎えました。

このような時は、なぜ、私たちはこのNPOを立ち上げたか、その原点を確認する時でもあります。専門学校の開校時に最後に残った私たちは、卒業生の戻ってくる場をつくりたい、また、現場で活躍している卒業生を応援したいという思いでこのNPOを立ち上げました。

今年度の総会にも22人の出席を得て、総会事項を審議し議論することができました。1年目より、2年目、2年目より3年目と実態に見合った事業計画や予算書をつくることができました。

今年度の課題は、会員を増やし、事務局を強化し、事業を組織的に進められるようにすること、講師派遣事業の進め方をチームとして取り組む方法を検討することなどです。皆様の益々のご支援をお願いします。

2013年度の実業計画について

事業として展開している次の3つの事業は、私たちの目的である「福祉介護の仕事の豊かさを広める活動」を目指し進めています。

1. 講師派遣研修について

講師派遣研修は施設の研修の要望を丁寧に聞き取り、研修計画を立て、講師を派遣し研修を進めています。単発の研修と継続研修を引き受けて実施しています。研修の成果がそれぞれの事業所によき成果が上がるようにそれぞれの事業所と協力し、職員育成に共に取り組む姿勢を明確にし、信頼関係を大切に進めています。昨年度からの特徴として、厚生労働省の奨励金を活用した継続研修が増えています。

歴史ある施設は、これまでの事業活動を踏まえながらも、新たな課題に向き合い、施設、事業所の果たすべき役割を担える人をどのように育てるか、法人全体の教育体制をどのように作り上げるかなどを模索している状況のようです。そんな中YWCAの教育力を評価し、我々を「人材育成を担うパートナー」として迎え入れ、継続研修に期待を込め、2014年度の研修に向け現在研修計画の具体化に共に取り組んでいます。

今後益々必要が高まる高齢者分野、障がい分野の人材育成と、研修のための組織作りの依頼等、多くなると考えられますので、研修を担当する講師の幅を広げ、講師の発掘や育成が課題となっています。

2. 講座講習

介護福祉士実習指導者講習

東京YWCA専門学校福祉科の実習指導方法を基にした、講習会を継続することは、現場の力になると考えて取り組んできました。閉校後3年が過ぎ、新カリキュラムの内容・現在の養成校の状況など情報不足の中、現状に即した講習会を進めて行く中、課題が浮き彫りになってきていますので、講師陣を検討します。

受講生の振り返りでは、実習指導だけでなく職員研修にも役立つ、初めて学ぶ面白さを実感したなど満足度は高い状況ですが、現状に即した情報を望む声も聞かれます。現在の学生の状況・新カリキュラムによりどのように教育内容方法が変わってきているのかなど、情報を収集し、研修内容の検討を進めていきます。

講座講習の課題は集客率を上げることです。昨年度は、「介護福祉士実習指導者講習」「訪問介護員養成研修2級課程」とも募集定員を下回り収益が落ちこみました。今年度は、介護福祉士実習指導者講習会1回の開催に絞り、集客率を高めたいと考えています。

3. 第三者評価事業

昨年度は7事業所の評価活動を受審しました。今年度も、昨年と同程度の活動を目指しています。

すでに多くの評価機関があり競合していますので、我々の持ち味を活かし、丁寧な評価活動を進めて行きたいと考えています。

評価者は、施設・事業者の様々な取り組みの現状を十分理解した上で、施設、事業所が目指そうとする目標を達成するためには、どのような工夫が必要か、取り組みが求められているかを、客観的に判断できるような力を付けていく事が求められています。

質の高い評価活動を目指して、研修を充実させると同時、施設・事業所のデータを読み込み十分な準備を重ねてまいります。

2012年度事業実績と2013年度事業予定

	事業内容	内訳	2012年度実績	2013年度計画 (5月現在)
講師派遣事業	継続研修	高齢者施設	7箇所	3箇所
		障がい者施設	1箇所	1箇所
		社会福祉協議会(K区)	1箇所	1箇所
	単発研修	高齢者施設	6箇所	2箇所
		YWCA 関連	2箇所	
		社会福祉協議会(M区、他)		3箇所
講座講習	介護実習指導者講習会	1回目(9月,10月実施)	受講者15名	1回開催 定員30名 1月~2月
		2回目(1月,2月実施)	受講者20名	
	訪問介護員講習会	9月~3月実施	受講者15名	
第三者評価事業	高齢者施設	特別養護老人ホーム	2か所	1箇所
		短期入所施設	2か所	1箇所
		居宅支援センター	1か所	
		グループホーム	1か所	
		通所介護事業所		1箇所
	障がい者事業所	精神障がい者就労支援B型	1か所	1箇所

上記の収益事業以外の活動計画

1. 広報活動・HP・機関紙の発行

会報は、総会后「5月末」発行予定と11月下旬発行予定 それぞれ200部の予定
東社協高齢福祉施設部会総会(5月14日)にて、パンフレット、チラシ500部配布
ホームページ管理:宮木さん

2. 他団体との連携

東京YWCA・ケアサポート板橋・愛恵福祉支援財団・NPO法人日中介護事業交流協会
東社協・北区社協・ヒューマンウェアコンサルティングKK・NPOごとの会
千代田区ボランティアセンター

3. 会員活動

会員向けスーパービジョン研修会の実施 窪田ゼミ 月2回

会員・寄付者の募集 2013年度 目標:個人・賛助会員100名 団体会員8施設

会員の皆様の声を反映させた会員活動を実現したいと考えています。一緒に活動したいと考えている方々是非連絡ください。お待ちしております。

活動報告

I 講師派遣研修

～内容を一部ご報告いたします～



◆S 法人

管理監督職者研修（特別養護老人ホーム 居宅介護支援事業所 通所介護 事務局）のリーダー職が、月1回3時間、3回研修を実施しました。

【研修内容】

- ① リーダーの役割とは・リーダーシップとメンバーシップについて学び、自分たちの実務の悩みを話しあいました。同じ職層で共有できたことで安心感が持てたとの感想が多くありました。リーダーばかりが責任を背負うのではなく、連絡相談をしながら、上手に役割分担をする。
- ② スーパービジョンの理論について学び、ロールプレイを通して、バイジー体験をしてみることで、自分の振り返りになり、バイジーとしてはどうしてほしいのかが理解できる研修となりました。研修が、仕事での具体的な動きにつながり、思いを動きにしてゆくことができるよう願っています。
- ③ コミュニケーションについては、傾聴や受信はどちらかといえはできるが、発信することの難しさ、行動を変えてほしい時に、相手を否定せずに認めつつ、わかるように伝える方法について活発に意見交換がありました。日ごろの仕事でのもやもやが、少し解消され、これからしていきたいことを確認し合うことができたとの感想は講師としても大変嬉しいものでした。

◆H 特別養護老人ホーム

リスクマネジメント、生活支援技術、認知症の介護、情報の収集やアセスメントの基本を確認し、利用者の側に立ってみる研修を受けます。研修後半の3か月間は、研修の学びを生かして、所属フロアでの課題に取り組みます。研修を受けて見えてきたことについて、フロアの職員に協力を仰ぎ、共通理解を進めながら、取組を始めます。チームが一体となって取り組むことのための準備や伝えることの難しさを感じながらも事例として取り上げた方の支援を続けます。

成果として、利用者の変化がみえてきた場合と、結果はまだ出ないが、職員の意識が変化してきたなど等、事例に取り組んだ成果は確実に現れています。研修最終日の報告会は初任者・中堅研修共に、その成果をまとめ、施設長をはじめ、課長さん方も出席し、発表会を行います。

苦勞しながら一つのことをやり遂げたという自信が表情から伺われ晴れやかな姿が印象的です。

◆地域生活支援センター

一日7時間、年2回の研修を継続しています。地域生活支援センターのリーダーたちは、年上の職員を指導したり助言したりすることもあり、事例を検討しながらじっくり課題に向き合い相互交流を深めながら、課題解決の力を確実につけているようです。

◆社会福祉法人 E 会 F 特別養護老人ホーム

介護施設の新人職員研修を施設と共同で実施しました。

施設のオリエンテーションや理念、働き方など1週間の新人研修のプログラムの中に、接遇・介護技術の基本（理論と実技）認知症の基本理解と接し方のポイント・チームで働くために、など4日間の研修を担当します。昨年と同様、一般大学を卒業した新入職員、すでに働いている中途採用者も含め、福祉・介護の基本を研修します。初めて仕事をするにあたりぶつかりやすい悩みや乗り越え方なども交えながら、職員となって介護の仕事に挑戦されるみなさんが、喜びをもって働くことができるようお願いしながら、研修に取り組みました。

これからも、応援して参ります！！（担当：蛸原まゆみ）

Ⅱ 実習指導者講習会

第2回目実習指導者講習会 20名の受講生が参加しました。たくさんの出会いと学びがありました。

アンケート結果 報告【講習を受けて自分を振り返り、変化はありましたか？】



食堂に一緒にい
きませんか。

受講生の声



指導者になるには必要な講義でした。4日間では絶対に足りないと感じました。1日1日学ぶにつれて、指導者になる以前の問題で知識の少なさにショックを受けました。日頃おろそかにしていたことがつけとなってきたと思いました。指導者になるために必要な事を勉強しなおすようになりました。面白い事が沢山出てきて「これは何だ。」という興味が次から次へ出てきて、今以上に介護が好きになりました。指導者として、良い実習生を生み出せるような人材になりたいと思いました。

講習を受ける前は実習指導者なんてただ教えるだけの立場の人間として考えてなかったのですが、受けてみると色々な事を知っていなければいけないし、人柄とかのよさも必要だと勉強させられました。あと講習がとても面白いものだと実感させられました。自分自身今まで勉強が楽しく思えた事が無かったのですが、とても楽しく面白かったので驚いています。こんな風に思える自分が気持ち悪いです。



すでに受け入れをしている施設から参加しているという前提ですすすめられた感じがします。これから受け入れるにあたってもっと実際の事例や学校によってどのくらいのカリキュラムがちがうのかなど、情報がほしかった。

自ら学ぶ機会をもたずただ毎日仕事をこなしてきたことを深く反省した4日間です。また学びの時間を自らつくり利用者のために自分自身へ進んでいこうと思います。講習会も是非続けて下さい。



受講生のみなさんは他の施設の受講生と日々の悩みを交換することが出来ました。人材不足な介護現場の中、まじめに実習生と向き合い指導をしている受講生の姿を知ることが出来ました。今後のさらなる活躍を応援しております。また、実習先の学校の現状や情報が知りたいという意見がありました。今回の学びを振り返り25年度介護実習指導者講習に繋げていきたいと思ひます。

(担当 : 柴田美花)

Ⅲ 訪問介護員養成研修

平成 24 年 10 月 18 日の開講から半年、25 年 3 月 15 日に無事修了式を迎え、15 名の受講者全員が修了証書を手にし、晴れやかな表情を見せてくださいました。

ここでは、その半年間の様子をご紹介します。



演習の様子

想像以上に大変だったり、身近な物の活用で意外と簡単に出来たりすることを学びました。



【修了式後の記念撮影～おめでとうございます！】

今回の研修は、経験豊かな講師の先生方にご尽力頂き、充実した内容となりました。また、実習先始め多くの方々のご厚意に感謝致しております。

終了後の受講者アンケートでも高評価を頂くことができ、NPO としての強みを再認識することもできました。



皆さまの今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。
そして、この御縁が当 NPO の今後にとって、大きな活力となることを願って…。 (担当: 佐藤香織)

IV 第三者評価事業

第三者評価を終えて

平成24年度は7事業所の評価をしました。卒業生が勤務する3社からの受託で、内訳は特養2件・短期2件・居宅1件・認知症対応型グループホーム1件・就労支援B型1件でした。評価者養成講座を無事修了し、新しく戦力として加わってくれた4名が利用者聞き取り調査・訪問調査・フィードバックなどの実習を行いました。



ここで今一度、第三者評価事業について簡単におさらいすると、東京都が都民に向けて「自分の利用したい事業所の特徴はどのようなことか」、「サービスの質はどのような状態にあるのか」など、サービスを選択する際の目安となったり事業所の内容を把握することが可能となるように、各事業所の評価結果を公表しています。私たちも第三者評価機関としてこれらの活動に関わりました。流れとしては、契約～利用者調査～訪問調査～フィードバック～公表(東京都福祉ナビゲーション:通称 福ナビ)となります。

平成23年度は通所介護を1件受託しその事業所から、平成24年度は特養・短期入所・居宅・認知症対応型グループホームの評価の依頼を受けました。



認知症対応型グループホームでは、「場面観察」として1日9時間半を2名で行うことを初めて経験しました。排泄や入浴の誘導の場面などで、どのような声掛けをしているか、それを評価者としてどのように感じたかなどをまとめていきました。観察する力が要求され、事業者はそこにどう反応するのかと、フィードバックする場面ではとても緊張しました。今回、事業者は「そういう見え方、捉え方もある」と理解している様子でした。



「就労継続支援事業所」とは、障がい者自立支援法に基づく就労継続支援のための施設であります。一般企業への就職が困難な障がい者に就労機会を提供するとともに、生産活動を通じて、その知識と能力の向上に必要な訓練などの障がい福祉サービスを供与することを目的としています。今回評価を行った「就労支援B型」は雇用契約を結ばず、利用者が比較的自由に働ける“非雇用型”となります。この評価では、現メンバーだけでは力不足と判断し、障がい福祉サービスの分野に詳しい方に応援を頼み評価を実施しました。



全体を通して、事業所の意図を決められた時間の中で聞き取ることや文章の表現力の難しさなどまだまだ学ぶことが多いと感じたでした。平成25年度も7件の受託を目標とし、現在は3件のご依頼をいただいております。新しく評価者となってくれた4名にも力を借りて、より丁寧な評価を行うことを心がけていきたいと思っています。



仲間がふえました～

新しい事務局メンバー紹介

たむら さちえ

田村 幸恵さん

5月より事務局事務員として加わらせて頂きました。43年前秘書科ジュニアコースで勉強し企業に30年働き、その後親の介護のため退職しました。娘もYWCAを卒業しておりYWCAのために何かお役にたてればと思っています。よろしくお願いいたします。



本の紹介「福祉援助の臨床」

共感する他者として 窪田暁子 著

～2013. 1. 20 誠信書房から出版されました～

この本は、社会福祉サービスの現場に出て数年、さまざまな悩みを抱きつつもこの仕事を長く続けようと心に定めた人々に、日々の歩みを見渡し、思考を深め、前に向かって一步を進むための手掛かりを提供しようとするものである。その人たちを前にして、言葉で言い表しがたい「ソーシャルワーカーの働き」の部分に焦点を当てて、存分に語りあうひとときを共有したい、というのが私のイメージである。（本から抜粋）

先生の実践や出会い・よき師からの学び・・・この本から、「援助」についての大きな財産をたくさん発見しました。何度も読み返したい内容でした。是非ご一読を♡（蛭原）

月に2度、窪田先生の事務所でグループスーパービジョンの学習しています。参加お待ちしております

窪田暁子先生の紹介:YWCA 元理事長 MSW としてのご経験、教育活動を通しグループワーク、スーパービジョンの第一人者としてご活躍。退職後は私達の活動をサポートして頂いています。



石井先生のフィジカルレッスン「目の疲れをとる」

身体も心もスッキリ 今すぐやってみよう。

息をはきながら、ゆっくり上下まぶたの骨の内側を指の腹で5秒おす。

効果 目がすっきりする。血液の循環が良くなる。花粉症の目のかゆみに効



公益財団法人愛恵福祉支援財団 国内研修の見学会のお知らせ

10月3日川崎の小規模多機能型居宅介護「ひつじ雲・くじら雲」ですご希望の方は事務局まで連絡ください。

編集人のつばやき NPO 事務局体制が強化されこれまでの取組を振り返りながら形にしてくださっています。遅ればせながら土台がつくられることとなります。会報の編集に加わると、やはり知識・技術を持って愛のあふれる人材・現場育てのサポートへの思いを共有できる人（会員）をもっと増やしていきたいよね。「このゆびと～まれ！」会員になり NPO に加わり継続を支えてください（蛭）

ご寄付いただいた方のお名前です。ありがとうございます。（2012年11月26日以降2013年5月現在）

小池 桂子・川副榮子・渡辺美智子・尾崎裕美子・外山真理・根本博子・林伸子 以上7名

（敬称と金額は省略させていただきます。）

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台一丁目8番11号 東京YWCA会館2階 216室

TEL・FAX 03-6273-7134 E-Mail : info@ywca-hssc.jp ホームページ :

<http://ywca-hssc.jp/>